

読響

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

伊予銀行 Presents
読売日本交響楽団 愛媛公演 2022

日本トップレベルのオーケストラが登場!

ドイツの歌劇場で要職を務め活躍する実力者
音楽界で注目を浴びる名匠が登場!
指揮 小林資典

興奮のクライマックスへ誘う!

金管楽器が高らかに鳴り響き

ピアノ 小山実稚恵
チャイコフスキー、ショパンの二大コンクールに入賞!
第一線で活躍し続ける人気・実力ともに
日本を代表するピアニスト

華麗なる〈展覧会の絵〉& 哀愁のラフマニノフ

グリンカ: 歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番
ムソルグスキー: 組曲「展覧会の絵」
(ラヴェル編)

2022年 10月14日(土) 14時開演(13時開場)
愛媛県県民文化会館メインホール
全席指定 S¥6,500/A¥5,500/B¥3,000

■未就学児の入場をお断りしております。■都合により曲目・出演者等が一部変更になる場合がございます。■公演中止の場合を除き、チケットの変更・キャンセル・払い戻しはできません。■新型コロナウイルスへの感染防止対策を行い実施します。■車椅子でご来場をご希望の方は(公財)愛媛県文化振興財団までお問い合わせください。



チケット発売: 7月12日(火)

お申し込み:

(公財)愛媛県文化振興財団 089-927-4777 (平日9時~17時)

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時/年中無休)

<http://yomikyo.pia.jp>

(座席選択可/チケット郵送料無料)



いよてつ高島屋 089-948-2727、フジグラン松山 089-922-8111 (代表)

チケットぴあ

お問い合わせ: (公財)愛媛県文化振興財団 総務事業部 089-927-4777 (平日9時~17時)

主催: 公益財団法人愛媛県文化振興財団 特別協賛: 株式会社伊予銀行 共催: 読売日本交響楽団

後援: 愛媛県・愛媛県教育委員会、読売新聞松山支局



伊予銀行

生きる希望として響く、ラフマニノフの壮大なハーモニー& 「展覧会の絵」の迫力あるサウンドが興奮のクライマックスへと誘う！

トランペットの華やかなファンファーレで始まる組曲「展覧会の絵」。

次々と織りなす美し旋律と緩急自在なドラマティックな構成、

多くの管楽器や打楽器が加わり、それはまるで鮮やかにして煌びやかな音楽絵巻のよう。

テレビなどでも使用されるなど、世界中で親しまれている名曲です。

前半は、雄大でロマンティックなラフマニノフの傑作協奏曲。

涙を誘うメロディ、絢爛豪華な響きをご堪能ください。

ドイツを拠点にドルトムント歌劇場で重責を務める注目の俊英・小林資典と、
人気ピアニストの小山実稚恵、読響が築く、深く豊かなサウンドにご期待ください。



小林資典(指揮)
Motonori Kobayashi, Conductor

本場ドイツの歌劇場で培われた、類まれな感性と実力を発揮する俊英。1974年生まれ。東京芸術大学及び同大学院で指揮法をF.トラヴィス、遠藤雅古に師事。文化庁海派遣研究員として渡独、ベルリン芸術大学でM.フスマンに師事。2000年からライン・ドイツ・オペラでコレペティトゥーア及び音楽アシスタント、通奏低音奏者も務める。08年ドルトムント歌劇場の専属指揮者として契約し、13年から現在まで、同歌劇場の音楽総監督代理と第1指揮者(カペルマイスター)の任にある。現在、ドイツの主要劇場で要職にある数少ない日本人指揮者として活躍。モーツァルト作品、R.シュトラウス(ばらの騎士)、ヴェルディ(椿姫)など多彩な演目で成功を収めている。21年8月に読響にデビューし絶賛された。



小山実稚恵(ピアノ)
Michie Koyama, Piano

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大国際コンクール入賞以来、常に第一線で活躍。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外のオーケストラや指揮者からの信頼も厚い。『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』で演奏と企画性が高く評価された。22年からサントリーホール・シリーズ 第1シーズンConcerto〈以心伝心〉を、デビュー40周年にあたる26年まで4年間に亘り開催。東日本大震災以降、被災地で演奏を行い、仙台では自ら企画立案した「こどもの夢ひろば」"ボレロ"を開催。CDはソニーから32枚をリリース。著書に「点と魂と」。平野昭氏との共著「ベートーヴェンとピアノ」。17年度 紫綬褒章受章。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のクラシック音楽の進捗と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月にドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者に就任。現在、名誉顧問に高円宮久子殿下をお迎えし、サントリーホールなどで充実した演奏会を開催している。17年11月にはメシアン(アッジの聖フランチェスコ)(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」で第1位となったほか、サントリー音楽賞を受賞。演奏会の様子はBS日テレ「読響プレミア」などで放送されている。

伊予銀行

AGENT

銀行は、
「行く」から「する」へ。

